

教育研究業績書の記入について

I. 教育研究業績書は下記事項を参照の上、作成して下さい。

1. 本書類は、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主な著書、学術論文、講演等について記入して下さい。
2. 年号は西暦で記入して下さい。
3. 年月日順〈過去→現在〉に記入して下さい。
4. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の「概要」の欄は、200字以内で具体的に記入して下さい。200字を超える場合は、概要欄に「別紙記載」と記入し、次ページに記載して下さい。
5. 「教育上の能力に関する事項」の1～4、「職務上の実績に関する事項」の1～3に該当しないものはその他に記入して下さい。

II. 「教育上の能力に関する事項」

【主として教育者としての実績について記載してください。】

1. 「教育方法の実践例」
 - ① 教育方法の実践例
 - ② マルチメディア機器を活用した授業方法
 - ③ 学生の授業外における学習促進のための取り組み
 - ④ 講義内容の Web 上での公開 等
2. 「作成した教科書、教材」
 - ① 執筆、作成した教科書
 - ② 執筆、作成した教材
 - ③ 講義で教科書として使用する、自執筆著書
 - ④ 作成した教材等の概要（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「再掲」と表示して下さい。）
3. 「教員として教育上の能力に関する大学等の評価」
 - ① 大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実〈その事由と評価内容〉
 - ② 学外の評価機関が行った評価
4. 「実務家教員についての特記事項」
 - ① 実習生に対する指導歴〈福祉実習、企業実習等〉
 - ② 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要
 - ③ その他所属機関や関係機関等において行った講義、講習、講演、職員・関係者に対する指導等

④ 海外における留学、調査研究経験

5. 「その他」

・教育実績に対する受賞歴等を広く記入して下さい。

Ⅲ. 「職務上の実績に関する事項」

【教育者としての実績以外について記載してください。】

1. 「資格、免許」

取得している資格、免許について記入して下さい。特に授業科目関連の資格、免許は必ず記入して下さい。

2. 「特許等」

取得している特許について記入して下さい。

3. 「実務家教員についての特記事項」

※ 実務家教員とは、授業科目について実務の専門的識見、経験をもとに適切に授業ができる実務経験者を指す。

実務経験の記入方法については、「職歴」欄に記入した事項を中心に、下記①～③について記入して下さい。

① 従事した期間

② 職務の内容（どのような職務に就いて、どのような役割を果たしたか）

③ 成果・結果。

ア) 企業、官公庁等の研究者の場合

- ・開発した新製品、製法、作物等の新品種などの概要
- ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割

イ) その他、企業、団体等関係者

- ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等、高度に専門的な実務に従事した実績

ウ) 情報技術関係者の場合

- ・コンピュータに係る職歴（職務上のコンピュータ活用方法、ソフト・システム開発）等

エ) マスコミ関係者の場合

- ・執筆した記事の概要
- ・制作した番組の概要

オ) 医師や看護師等医療技術者の場合

- ・症例研究会での発表等の活動

カ) 福祉その他社会的活動の関係者の場合

- ・参加した活動や団体の名称、活動内容、期間、本人の当該活動における地位

キ) スポーツ等実技関係者の場合

- ・指導者としての経歴・実績・資格・選手としての経歴、実績

ク) 芸術関係者の場合

- ・作品の概要、個展の概要

ケ) 博物館・美術館等関係者の場合

- ・担当した展覧会の概要
- ・執筆・監修した展覧会図録の概要

コ) その他全般

4. その他

- ・上記以外に該当する事項を記入して下さい。

IV. 「著書、学術論文等の名称」

1. 研究業績は、「著書」「学術論文」及び「その他」の順序に区分し、その区分の冒頭には（ ）書きで当該小見出しを記した上で、年月日順に記入し、各区分内で一連の番号を付して下さい。

① 「著書」

一冊の本を単独で執筆した場合だけでなく、2人以上で執筆した場合も、担当執筆ページ数の多少にかかわらず「著書」として記載してください。なお、掲載ページ（pp.00～00.）を必ず記入して下さい。共著の場合は、「概要」欄に本人担当執筆分の名称と掲載ページ(pp.00～00.)を記入してください。（下記の「5. 『概要』欄について」を参照のこと）なお、その本がシリーズもの（全集、講座、叢書、訳書等）の一冊である場合は、表題の下段に（ ）書きで、シリーズ名及び当該巻数を付記して下さい。

② 「学術論文」

ア) 以下のいずれかに該当する「学術論文」のみを記入して下さい。

- ①国際的学術誌に掲載された論文
- ②日本学術会議の登録協会発行の学術雑誌に掲載された論文
- ③大学等の紀要に掲載された論文
- ④上記以外で、学術論文として判断できる雑誌に掲載された論文

なお、「書評」「資料紹介」「学会情報」「学会発表要旨」等は「その他」に記入し、「学術論文」欄には含めないで下さい。

ロ) 学位論文については、当該論文名の表題の下段に（ ）書きで（修士論文）又は（博士論文）と明記する。なお、学位論文が刊行されているものであっても、「著書」の区分には入れずに、必ず「学術論文」の区分に入れ、当該論文の題名の下段に（修士論文）又は（博士論文）と明記して下さい。

ハ) 共著で筆頭論文の場合は、当該論文名の表題の下段に（ ）書きで（筆頭論文）と明記して下さい。

ニ) 共著で執筆者が複数の場合は、「概要」欄に執筆者全員の氏名を記載順に記入し、ご自身の名前に下線を引いて下さい。

ホ) 査読付論文の場合は、当該論文表題下段に () 書きで (査読付論文) と明記して下さい。

③ その他

「翻訳」、「辞書」、「事典」、「白書」、「年鑑」、「学会発表」等、「著書」、「学術論文」以外の業績について（下記の業績例）を記載して下さい。その際、それぞれ項目を適宜区分し、小見出しを記入して下さい。

- ・ 学術調査、委託試験・調査による報告書
- ・ 準学会誌掲載の学術記事・教育啓蒙活動記事
- ・ 業績が出版物により表明されない場合……例えば、工作施工、デザイン、スポーツ出場、指導、芸術作品等は当該分野の慣用の仕方にて記載して下さい。

- ・ 翻訳……学術的に価値のある「翻訳」についてのみを記入して下さい。

なお、その「名称」欄には、まず原著者又は編集者名を原文で記入し、次行に邦訳の表題を記入します。原著者の記入を要する場合は、「概要」欄に記入して下さい。

- ・ 学会発表……学会レベルでの研究発表(研究会レベルは含まない)、シンポジウムのシンポジストや司会、口頭発表、ポスター発表、座長、パネル等記入して下さい。

※ 近く刊行ないし掲載予定の学会誌等の研究業績については、その旨の証明書を添付して下さい。ただし、投稿予定のものは含みません。

2. 「単著、共著の別」欄について

① 「著書」及び「学術論文」については、「単著」か「共著」のいずれかを記入して下さい。なお、（監修）、（編集）等の記載を要する場合は「概要」欄に記入して下さい。

② 「翻訳書」については「単独訳」か「共訳」、「学会発表」については「単著」か「共著」のいずれかにして下さい。

3. 「発行又は発表の年月」欄について

① 著書、学術論文等の発行又は発表年月は西暦で記入して下さい。

〔例〕 0000 年 00 月

② 学位論文については、大学から学位を授与された年月を記入して下さい。

4. 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」欄について

① 「学術論文」（学位論文を除く）及び学術雑誌等に発表された「翻訳」の場合は、当該発表雑誌などの誌名、学会名の他、巻・号、掲載ページ（pp.00～00.）を必ず記入して下さい。

② 学位論文については、学位を授与された大学名を記入して下さい。

なお、その論文が印刷・公表されている場合は、上記①と同様、当該発表雑誌等の誌名の他、巻・号を併記して下さい。

③ 「学会発表」の場合は、大会名、開催場所等を次のように記入して下さい。

〔例〕 第 00 回〇〇学会〇〇大会（於〇〇大学）

5. 「概要」欄について

① 研究業績ごとにそれぞれ200字以内で簡潔に概要を記入して下さい。著書の場合は、末尾に（ ）書きで総ページ数を明記して下さい。

② 著書、学術論文とも共著の場合は、本人の氏名を含め共著者全員の氏名を該当著書、学術論文等に記載された順に（多数の場合は主要な共著書の氏名）、また、本人担当部分の章、節、題名、ページ（pp.00～00.）、（ ）書きで総ページ数を記入して下さい。

なお、本人担当部分が明確にできないときは、その理由を、例えば、「共同研究につき担当分抽出不可能」等と記入して下さい。

6. その他

① 教育研究業績書に記入した著書、学術論文等について、資料の提出を求めています。

② 外国人の場合は母国語で記入しても差し支えありませんが、その場合は邦文訳を添付して下さい。

以上